

協議体の開催 in 大成地区

大成地区ざっくばらんの集いでは、『コロナによって集いの場に通えなくなった方たちとのつながりづくり』をテーマに話し合いを行っています。

協議体とは…関係団体が集まり、地域の課題に対して、地域特性を活かした取組などについて検討する懇談会です！

主な課題

集いの場等が開催できず、高齢者のつながりが希薄化しています。

- (1)『大成地区センター』が改修工事の為、一時的に使用できない。
- (2)『点字図書館2階』がコロナの影響を受けて使用できない。
- (3)『会食を伴うふれあいランチ』は、ワクチン接種等が完了し、市内の感染状況が落ち着かなければ開催することは難しい。
- (4)『イトーヨーカドーが撤退する』ことによって、気軽に会える場がなくなった。



話し合いの様子

ミニサロンの様子



課題に対する取組み

- (1)ふれあい通信を作成し、個別訪問を実施する。
- (2)試験的に、参加者4～5名に限定したミニサロンの開催
- (3)公園等を活用した青空サロンの開催の検討



～生活支援コーディネーターによるボランティア調整紹介～

- 1 ボランティア養成講座修了証書の宛名書きボランティアをしていただきました♪高齢者の方が在宅でも活躍できる機会を、今後も創出できるよう取り組んでいきます。



- 2 コロナ禍で中々会えないボランティアの方に、お手紙を出すことになりました♪「早くまた家に来ていただいて、お話しできることを楽しみにしています」と話されていました。

発行・お問合せ先
旭川市第2層生活支援コーディネーター
〒070-0035
旭川市5条通4丁目893-1 旭川市ときわ市民ホール1階
社会福祉法人旭川市社会福祉協議会内
E-mail seikatsu-shien@asahikawa-shakyo.or.jp
TEL 23-0742 / FAX 23-0746

高齢者の皆さんが安心して生活できる地域を目指して！

生活支援コーディネーター通信 第2号

発行:旭川市第2層生活支援コーディネーター(令和3年10月29日発行)



生活支援コーディネーターは、高齢者が安心して住みやすい地域を目指し、身近な地域の住民組織や団体と連携して地域の支えあい活動を推進しています。

本通信では、旭川市内で行われている様々な高齢者支援の紹介や、生活支援コーディネーターが取り組んでいるボランティア支援等についてお知らせします。

豊岡ボランティア養成講座が始まりました♪



令和3年10月6日に豊岡地区センターで「豊岡ボランティア養成講座」を開催しました。当講座は、地域で活躍するボランティアを増やすことを目的に、生活支援コーディネーターが地域包括支援センター及びボランティアセンターと連携し開催しています。

初回は「高齢者・認知症の方との関わり」をテーマに、グループホームあさがお管理者である伊藤美由紀様、ボランティア活動者である黒松みゆき様、豊岡地域包括支援センターの精神保健福祉士である早苗隆宣様に登壇いただき、それぞれの経験談や想いについてお話しいただきました。

「直前に電話をして会う約束をして、本人が覚えてもらっている状態で自宅に伺う」、「周りの態度や接し方で、本人の状態が変わる」といった専門職として認知症の方と接する際の日頃の心がけなどについて、お話しいただきました。

10月・11月に全4回実施予定である標記講座の第1回が開催されました！「認知症」をテーマとした初回について紹介いたします！



↑ 専門職である伊藤様と早苗様からは、それぞれの経験を基に、認知症の方との接し方についてお話しいただきました♪



↑ トーク後は、参加者の方から多くの質問や感想をいただきました♪

また、認知症の方のお話し相手などの活動をされているボランティアの黒松様からは、「次はどんな話題が出るかなと楽しみにしながら会話をしている」といった活動中のお気持ちについてお話しいただきました。

参加者の皆さまからも、認知症などに関する活発な質問や感想をいただきました。当講座が参加者の皆さまにとって、新たな一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです！

身近な町内の助け合い活動！「末広お助けはっしん隊」のお話を伺いました！

末広東地区の八親町内会では、高齢化が進んでも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、町内会員の有志メンバーによる「末広お助けはっしん隊」を令和元年度から本格的にスタートしています。お助け隊は除雪や草刈り、庭木の剪定など、有償による生活支援を含むさまざまな活動に取り組んでおり、末広まちづくり推進協議会や末広・東鷹栖地域包括支援センター、生活支援コーディネーターも連携し、発足に関わらせていただきました。今回は取組の紹介として、代表の佐藤会長と鏡福祉部長にお話を伺いました。



「末広お助けはっしん隊」の皆さま



佐藤会長と鏡福祉部長

-お助けはっしん隊を始めたきっかけについて教えてください-

(佐藤会長)平成30年度の冬から民生委員児童委員を担当されていた鏡さんをはじめ、前町内会長の裏野さんから町内会で除雪に関するサポートの提案があったのがきっかけです。

-「お助け隊」の活動内容について、どのようなサポートをされているか教えてください-

(鏡福祉部長)高齢者で体調の不安を抱えている方など、自力で除雪が困難な方や、草取りができなくて困っている方などのサポートをしています。屋外の作業なので、コロナであっても活動は継続できています。その他にも、高齢者世帯の見守りも行っています。

(佐藤会長)昨年度は、除雪が自力で困難な世帯(19世帯)を対象に冬期間に延べ874回の支援を実施しました。現在、活動を支える担い手は15名程のメンバーで行っています。

-依頼者の方からは、どのような感想を頂いていますか？-

(鏡福祉部長)この町内に住んで良かったという声を聞いた時に、本当に良かったと思いました。「朝、玄関を開けた時に、雪が綺麗になっていて驚いた」という声や、担い手を気遣う声も頂いています。

-今後の活動の豊富や目標を教えてください-

(佐藤会長)課題はいろいろあります。担い手の高齢化も進んでいるので、若い協力者を見つけることが今後の課題です。また、町内会では空き家の問題等も生じているので、そうした問題にも町内会で協力できることをしていきたいと思っています。

(鏡福祉部長)情報が行き渡っていない人もいると思うので、これからも活動を周知していきたいです。

-これから地域の活動を検討されている方たちへのメッセージをお願いします-

(佐藤会長)相手の方に「ありがとう」と言われた時の笑顔が私達のエネルギーになっています。そういう声を聞くと、「よし、今年も頑張るか！」という気持ちになります。

(鏡福祉部長)特に町内の福祉活動について、これからも高齢化は続くので大変な時期になると思いますが、若い人たちに繋げていきたいです。

【研修会のご案内】令和3年度ボランティア研修～コロナ禍で光るささえ合い～

日時：令和3年11月21日(日) 14:30～16:00

場所：旭川市大雪クリスタルホール

対象：市内にお住まいの方 定員：50名

その他詳細については、別紙チラシをご覧ください！

※ この研修は9月18日(土)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、左記日時に変更となりました。

旭川信用金庫と地域包括支援センターとの意見交換会を開催しました

地域の高齢者がどのような困りごとを抱えているのか情報共有をするため、旭川信用金庫各支店及び各地域包括支援センターと意見交換会を開催しました。生活支援コーディネーターも意見交換会の開催に向けた事前調整や、当日の進行役を担当いたしました。今回は、全支店の意見交換会を終えて、旭川信用金庫の松山さんから感想を伺いました。



旭川信用金庫 お客さま支援グループ
課題解決推進部 推進役 松山 孝一 氏



Q.どのようなことがきっかけで、意見交換会を開催することになりましたか？

A.高齢化が進む中で、来店された高齢者への対応について悩むことが多々ありました。そのため高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターについて知り、連携を強化することが必要だと感じ、全支店での意見交換会の開催を計画しました。

Q.実際に意見交換会を終えてみていかがでしたか？

A.高齢者の方への対応方法や認知症についての知識が深まりました。また、地域包括支援センターとの距離が縮まり、困りごとに対する解決への道筋が一つ出来たと感じています。

Q.今後新たな連携についてお考えですか？

A.これまで以上に地域包括支援センターとの関わりを深め、来店された高齢者だけでなく、高齢者のご自宅訪問時に異変をキャッチした際にも、スムーズに連携を図っていきたいです。

ごみ問題さぽーと隊を立ち上げます！

生活支援コーディネーターが市内のボランティア活動者と連携し、自宅にごみを長期間溜めてしまった方や、ゴミ屋敷のような状態になってしまった高齢者宅に対して、環境整備を目的とした短期集中のごみ捨て支援の取組をスタートします。

対象となる方（次のすべてに該当する方）

- ① 旭川市内に居住する65歳以上の方
- ② 対象者本人がごみを捨てる支援に同意されていること
- ③ 経済的な理由等で他の自費によるサービス利用が難しい方
- ④ 活動場所が、活動者の怪我などの危険性が少ないこと
- ⑤ 現在、担当ケアマネジャーもしくは地域包括支援センターの支援を受けている方(支援者を通じて申請して頂きます)

※ 詳細は生活支援コーディネーターまでお問合せください。

※ 日常のごみ出し支援ではなく、短期集中の室内整理・ごみ捨て支援です。

・ボランティアによる支援であるため、利用料は発生しません。なお、支援に伴う実費(ごみ袋等の処分に伴う費用)は利用者によるご負担が必要です。

・ボランティアによる支援活動であるため、活動者が見つからない場合、危険を伴う活動の場合など、調整できないことがあります。

